

別記様式第1号（規格A4）（第8条関係）

（第1面）

再生資源物屋外保管業事前協議書

●年●月●日

群馬県知事 宛て

登記事項証明書（又は住民票）に記載されたとおりに記入してください。

例）住所は「ー」で省略せず、履歴事項全部証明書に合わせて「番」、「番地」と記入してください。

協議者 株式会社〇〇〇〇
 住 所 群馬県〇〇市〇町〇〇番地〇
 氏 名 代表取締役 〇〇〇〇
 電話番号 XXX-XXX-XXXX
 担当者名 総務部 〇〇〇〇
 電子メールアドレス XXX@XXXX

群馬県再生資源物屋外保管業の事前協議等に関する規程第8条第1項の規定により、再生資源物屋外保管業の事前協議をしたいので、関係書類及び図面を添えて提出します。

事前協議の内容	事業場の新規設置			
事業の範囲	保管のみ ・ 保管及び破砕等			
再生資源物屋外保管事業場の所在地	群馬県〇〇市〇町〇〇番地〇〇			
再生資源物屋外保管事業場の敷地面積	x, xxx m ²			
許可年月日※	年 月 日			
許可番号※				
再生資源物屋外保管事業場の構造	図面のとおり			
再生資源物屋外保管事業場の設備	添付書類1の3(3)、3(5)、4(1)のとおり			
保管				
保管の場所	位置	面積	再生資源物の区分	保管物を積み上げる高さ（最高のもの）
1	添付書類1の3(1)のとおり	700 m ²	1 金属スクラップ 2 プラスチック類 3 雑品スクラップ	5m
2		m ²	1 金属スクラップ 2 プラスチック類 3 雑品スクラップ	
3		m ²	1 金属スクラップ 2 プラスチック類 3 雑品スクラップ	
4		m ²	1 金属スクラップ 2 プラスチック類 3 雑品スクラップ	
5		m ²	1 金属スクラップ 2 プラスチック類 3 雑品スクラップ	

保管の作業の方法及び手順		可燃物等の混入が無い確認のうえ、保管区画の前に荷下ろす。 再生資源物を油圧ショベルを用いて各区画に移動する。			
積み上げる作業の用に供する機械の種類、数量及び能力		添付書類1の3（3）のとおり			
(破砕等（破砕、切断、圧縮、解体、洗浄その他の処理をいう。以下同じ。）を行う場合）					
破砕等の場所	位置	面積	再生資源物の区分	破砕等の種類及び方法	
1	添付書類1 の3（4） のとおり	300 m ²	1 金属スクラップ 2 プラスチック類 3 雑品スクラップ	1 破砕 2 切断 3 圧縮 4 解体 5 洗浄 6 その他の処理	2軸破砕
2	同上	100 m ²	1 金属スクラップ 2 プラスチック類 3 雑品スクラップ	1 破砕 2 切断 3 圧縮 4 解体 5 洗浄 6 その他の処理	三方プレス
3	同上	100 m ²	1 金属スクラップ 2 プラスチック類 3 雑品スクラップ	1 破砕 2 切断 3 圧縮 4 解体 5 洗浄 6 その他の処理	回転式洗浄
4		m ²	1 金属スクラップ 2 プラスチック類 3 雑品スクラップ	1 破砕 2 切断 3 圧縮 4 解体 5 洗浄 6 その他の処理	
5		m ²	1 金属スクラップ 2 プラスチック類 3 雑品スクラップ	1 破砕 2 切断 3 圧縮 4 解体 5 洗浄 6 その他の処理	
破砕等の作業の方法及び手順				電動油圧半自動・手順書による	
破砕等の用に供する設備の種類、数量及び能力				破砕機 100t/時 1基 プレス機 4t/時 1式 洗浄機能力不明 1式	

備考 1 「再生資源物の区分」の欄は、保管をする再生資源物の区分のうち、該当する区分の番号を○で囲むこと。

2 「破砕等の種類及び方法」の欄は、1～6のうち、該当する種類の番号を○で囲み、その方法について具体的に記載すること。

- 3 各欄に記載しきれないときは、この様式の例により作成した書面に記載して、その書面を添付すること。

(第2面)

添付書類	1 事業計画の概要を記載した書類 2 再生資源物屋外保管事業場の位置図及び付近の見取図 3 再生資源物屋外保管業を行う土地及び建物の登記事項証明書並びに公図の写し 4 再生資源物屋外保管事業場の構造を明らかにする平面図、立面図、断面図、構造図及び設計計算書 5 破砕等の用に供する設備を使用する場合にあっては、当該設備の処理方式、構造及び設備の概要並びに構造を明らかにする平面図、立面図、断面図、構造図及び設計計算書 6 協議者が再生資源物屋外保管業を行う土地及び建物の所有権を有しない場合にあっては、当該土地を使用する権原を有することを証する書類 7 再生資源物の破砕等を行う場合にあっては、当該破砕等に伴って生じた廃棄物の処理方法又は再生品の利用方法を記載した書類 8 次に掲げる事項を記載した標準作業書 (1) 再生資源物屋外保管事業場の維持に関する計画 (2) 油水分離装置及びこれに接続している排水溝の管理の方法 (3) 電池、潤滑油その他の火災の発生又は延焼のおそれがあるものの回収及び処理の方法 (4) 屋外保管等に伴って生じた汚水又は油の飛散、流出及び地下への浸透並びに悪臭の発散を防止する方法 (5) 屋外保管等に伴う生活環境の保全に支障を生じさせる騒音又は振動の発生を防止する方法 (6) 再生資源物屋外保管事業場におけるねずみの生息及び蚊、はえその他の害虫の発生を防止する方法 (7) 当該事業に伴って生じる廃棄物の処理の方法 (8) その他知事が定める事項 9 その他知事が必要と認める書類等
備考	当該事前協議書は2部提出し、追加提出について指示を受けること。

添付書類 1

事業計画の概要を記載した書類

事業計画の概要

1 事業概要

- (1) 事業の概要
- (2) 取扱う再生資源物の区分
- (3) 取引内容
- (4) 業務の具体的な計画

2 事業場の概要

- (1) 事業場一覧
- (2) 事業地の状況
- (3) 計画地周辺の状況

3 保管及び破碎等

- (1) 保管の場所一覧表
- (2) 保管の場所の概要
- (3) 積み上げる作業の用に供する機械一覧表
- (4) 破碎等の場所一覧表
- (5) 破碎等の場所の概要

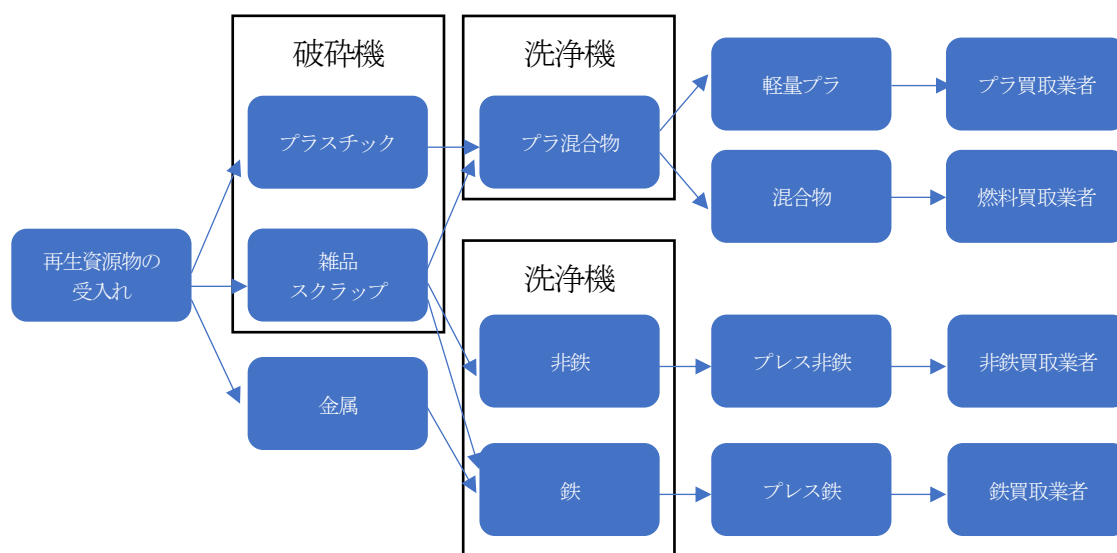
4 油水分離装置等の設備

- (1) 油水分離装置及びこれに接続している排水溝の概要

1 事業概要

(1) 事業の概要

再生資源物屋外保管業において、仕入先予定事業者から再生資源物が搬入され、当該事業場で保管又は破碎等を行い、売却先に搬出するまでの流れを示すフロー図を記載してください。



(2) 取扱う再生資源物の区分

再生資源物の区分	取扱物品
金属	H 鋼※、金属端材
プラスチック	樹脂成型時の端材、不良品※
雑品スクラップ	業務用機器

※の物品については、油が混入又は付着しているものは取り扱わない。

(3) 取引内容

ア 仕入先予定事業者

仕入先予定事業者	再生資源物の区分	取扱量(t/月)
名 称：〇〇製作所 代表者名：〇〇〇〇 住 所：群馬県〇〇市〇〇町×-× 排出場所：群馬県〇〇市〇〇町×-× 電話番号：XXX-XXX-XXX	金属	〇t/月
	小 計	〇t/月
名 称：△△化成 代表者名：△△△△ 住 所：群馬県△△市△△町×-× 排出場所：群馬県△△市△△町×-× 電話番号：XXX-XXX-XXX	プラスチック	△t/月
	小 計	△t/月
名 称：①□□工業／②個人 代表者名：①□□□□／②個人 住 所：①群馬県□□市□□町×-× ／②個人 排出場所：群馬県□□市□□町×-× ／②個人 電話番号：①XXX-XXX-XXX／②個人	雑品スクラップ	①□t/月 ②□t/月
	小 計	□t/月
	合 計	●t/月

※ 「取扱量」は、1か月の予定平均数量を記入し、「小計」には事業者ごとに1か月の予定取扱量の小計を出して記入してください。

仕入れ先が固定していない場合にも記載をお願いします。
 例) 解体業者、個人

イ 引渡先予定事業者（売却先）

再生資源物の区分	処理方法	引渡先予定事業者
金属	溶融	名 称：〇〇金属 代表者名：〇〇〇〇 事業の内容：製鉄業 事業場の所在地：〇〇県〇〇市〇〇町×-× 電話番号：XXX-XXX-XXXX 予定売却量：〇t/月
金属	切断	名 称：△△鉄工 代表者名：△△△△ 事業の内容：リサイクル業 事業場の所在地：△△県△△市△△町×-× 電話番号：XXX-XXX-XXXX 予定売却量：△t/月
プラスチック	破碎	名 称：□□資源 代表者名：□□□□ 事業の内容：リサイクル業 事業場の所在地：□□県□□市□□町×-× 電話番号：XXX-XXX-XXXX 予定売却量：□t/月
雑品スクラップ	破碎・選別	名 称：●●資源 代表者名：●●●● 事業の内容：リサイクル業 事業場の所在地：●●県●●市●●町×-× 電話番号：XXX-XXX-XXXX 予定売却量：●t/月

※ 「処理方法」は、売却先における具体的な処理方法等を記入してください。

(4) 業務の具体的な計画（営業時間、休業日、従業員数及び再生資源物以外を取扱う場合にあってはその概要を含む。）

- ・営業時間：8:00-18:00（ただし、重機の使用は9:00-17:00）
- ・休業日：日祝日（土曜日は受入のみ行い、重機による作業は行わない）
- ・従業員：5人
- ・再生資源物のみを取扱い、廃棄物は扱わない

従業員数内訳

●年●月●日現在

役 員	条例施行規則第8条に 規定する使用人	事務員	運転手	作業員	その他	合 計
2人	0人	1人	0人	2人	0人	5人

2 事業場の概要

(1) 事業場一覧

No	事業場	土地利用
1	所在地（地番）：〒 <i>XXX-XXXX</i> <i>群馬県〇〇市〇町〇〇番〇〇ほか2筆</i> 電話番号 <i>XXX-XXX-XXXX</i> (事業場合計面積 <i>X, XXX</i> m ²)	市街化区域 (用途地域： <i>準工業地域</i>) 市街化調整区域 非線引き都市計画区域() 都市計画区域外
2	所在地（地番）：〒 <i>XXX-XXXX</i> <i>群馬県〇〇市〇町〇〇番〇〇の一部</i> 電話番号 <i>080-XXXX-XXXX</i> (事業場合計面積 <i>2,000</i> m ²)	市街化区域(用途地域：) <u>市街化調整区域</u> 非線引き都市計画区域() 都市計画区域外
3	所在地（地番）：〒 電話番号 (事業場合計面積 m ²)	市街化区域(用途地域：) <u>市街化調整区域</u> 非線引き都市計画区域() 都市計画区域外

土地の登記事項先負証明書に記載に合わせて記載すること。

※ 所在地のうち筆の一部を事業地として使用する場合は、地番の後に「～の一部」と記入してください。

※ 事業場合計面積は、筆の全部を使用する場合は登記簿上の合計面積を、筆の中に一部を使用する箇所がある場合には、その部分については使用する実測の面積を、合計したものを記入してください。

新規・変更後

事業場No. 1

(2) 事業地の状況（事業場ごとに新規又は変更後について作成して下さい。）

所在及び地番 (建物は加えて建物番号)	登記地目及び現況地目 (建物は構造)	地 積(m ²) 床面積(m ²) ()は一部面積	(甲区)権利者名 (権利の種類)	購入・借地 (予定)の別
群馬県〇〇市〇町〇〇 番〇〇	宅地	〇〇 ()	株式会社〇 〇〇〇	購入
群馬県〇〇市〇町〇〇 番〇〇	宅地	〇〇 ()	株式会社〇 〇〇〇	購入
群馬県〇〇市〇町〇〇 番〇〇 (家屋番号 xx)	鉄骨造陸屋根平屋建	〇〇 ()	株式会社〇 〇〇〇	購入
		()		
		()		
		()		
		()		
		()		
		()		
		()		
		()		
合 計 2筆		登記簿上の敷地面積 x, xxx m ² (事業場の合計面積 x, xxx m ²)		

※ 「面積」欄については、登記事項証明書が表示のとおり記載してください。

※ 筆の一部を使用する場合は、控除面積を明らかにする図面を添付してください。

(2) 事業地の状況（事業場ごとに新規又は変更後について作成して下さい。）

所在及び地番 (建物に加えて建物番号)	登記地目及び現況地目 (建物は構造)	地 積(m ²) 床面積(m ²) ()は一部面積	(甲区)権利者名 (権利の種類)	購入・借地 (予定)の別
群馬県〇〇市〇町〇〇 番〇〇	宅地	2,000 ()	●● ●●	借地
協議者が土地の所有者が異なる場合、協議者が土地の使用権原を有することを証する書類を添付すること。				
例) 協議者が「法人」、土地の所有者が「代表取締役 個人」の場合、両者間で締結した土地の賃貸借契約書の写しを添付する				
		()		
		()		
		()		
		()		
		()		
		()		
合 計	1筆	登記簿上の敷地面積 x,xxx m ² (事業場の合計面積 x,xxx m ²)		

※ 「面積」欄については、登記事項証明書が表示のとおり記載してください。

※ 筆の一部を使用する場合は、控除面積を明らかにする図面を添付してください。

(3) 事業場周辺の状況（事業場ごとに新規又は変更後について作成してください。）

ア 事業場周辺の住宅の状況

300m以内（**xx**）戸

※上記の範囲を示す線を追記した図面（地図）を添付してください。

イ 事業場までの搬入路

搬入路の有無

☒ (公道 路線名：**国道〇号線から搬入**))
(私道 所有者名：)

無

ウ 排水等の状況

	該当する排水先に○をつけてください	水路名
(ア) 排水	公共下水道、 公共用水域 地下浸透、 無（回収含む）	〇〇用水路
(イ) 雨水	公共下水道、 公共用水域 地下浸透、 無（回収含む）	道路側溝
(ウ) 生活雑排水	公共下水道、 公共用水域 地下浸透、 無（回収含む）	道路側溝

エ 土地利用についての規制（該当する欄に○を入れてください）

(ア) 都市計画

☒ 都市計画区域	☐ 市街化区域	用途地域 準工業地域
☐ 都市計画区域外	☐ 市街化調整区域	

(イ) 地区等

☐ 公共用地、土地利用計画のある土地	☐ 農用地区域内の農地（農振法）
☒ いずれの地域にも該当しません	

オ 市の区域については各市の告示により規定された区域の区分、町村の区域については「特定工場等において発生する騒音について規制する地域等の指定（平成12年群馬県告示第553号。以下、各市の告示と合わせて「騒音告示」という。）」を適用した区分（該当する欄に○を入れてください）

※騒音告示に定めのない区域にあっては、周辺地域の生活環境保全上の支障が生じないものとして、敷地境界において達成することとした数値の記載をお願いします。

☐ 第1種区域	☒ 第3種区域
☐ 第2種区域	☐ 第4種区域

☐ 定めなし (達成することとした数値： デシベル)

カ 市の区域については各市の告示により規定された区域の区分を、町村の区域については「特定工場等において発生する振動及び特定建設作業に伴って発生する振動について規制する地域等の指定（平成12年群馬県告示第554号。以下、各市の告示と合わせて「振動告示」という。）」を適用した区分（該当する欄に○を入れてください）

※振動告示に定めのない区域にあつては、周辺地域の生活環境保全上の支障が生じないものとして、敷地境界において達成することとした数値の記載をお願いします。

	第1種区域
○	第2種区域

	定めなし
--	------

（達成することとした数値： デシベル）

(3) 事業場周辺の状況（事業場ごとに新規又は変更後について作成してください。）

ア 事業場周辺の住宅の状況

300m以内（**xx**）戸

※上記の範囲を示す線を追記した図面（地図）を添付してください。

イ 事業場までの搬入路

搬入路の有無

☒ 有（公道 路線名：**県道〇号線から搬入**）

（私道 所有者名：）

無

ウ 排水等の状況

	該当する排水先に○をつけてください	水路名
(ア) 排水	公共下水道、公共用水域、 ☒ 地下浸透、 無（回収含む）	
(イ) 雨水	公共下水道、公共用水域、 ☒ 地下浸透、 無（回収含む）	
(ウ) 生活雑排水	☒ 公共下水道、公共用水域、地下浸透、 無（回収含む）	

エ 土地利用についての規制（該当する欄に○を入れてください）

(ア) 都市計画

☒ 都市計画区域	☐ 市街化区域	用途地域	
☐ 都市計画区域外	☒ 市街化調整区域		

(イ) 地区等

☐ 公共用地、土地利用計画のある土地	☐ 農用地区域内の農地（農振法）
--	--------------------------------------

☒ いずれの地域にも該当しません

オ 市の区域については各市の告示により規定された区域の区分、町村の区域については「特定工場等において発生する騒音について規制する地域等の指定（平成12年群馬県告示第553号。以下、各市の告示と合わせて「騒音告示」という。）」を適用した区分（該当する欄に○を入れてください）

※騒音告示に定めのない区域にあっては、周辺地域の生活環境保全上の支障が生じないものとして、敷地境界において達成することとした数値の記載をお願いします。

☐ 第1種区域	☒ 第3種区域
☐ 第2種区域	☐ 第4種区域

☐ 定めなし（達成することとした数値： デシベル）

カ 市の区域については各市の告示により規定された区域の区分を、町村の区域については「特定工場等において発生する振動及び特定建設作業に伴って発生する振動について規制する地域等の指定（平成12年群馬県告示第554号。以下、各市の告示と合わせて「振動告示」という。）」を適用した区分（該当する欄に○を入れてください）

※振動告示に定めのない区域にあつては、周辺地域の生活環境保全上の支障が生じないものとして、敷地境界において達成することとした数値の記載をお願いします。

	第1種区域
○	第2種区域

	定めなし	（達成することとした数値： デシベル）
--	------	------------------------------

3 保管及び破碎等

(1) 保管の場所一覧表

事業場No. 1		新規 変更なし、変更前・変更後	
事業場所在地		群馬県〇〇市〇町〇〇-〇〇	
No	保管物の区分 (破碎等を行う場合は、破碎等前・後の別も記載してください。)	保管の場所の 面積 (㎡)	保管の高さ (最高) (m)
1	〔切断前〕 金属	50 ㎡	5 m
2	〔切断後〕 金属	50 ㎡	5 m
3	〔－〕 プラスチック	100 ㎡	2.5 m
4	〔手解体前〕 雑品スクラップ	16 ㎡	1 m
5	〔手解体前〕 雑品スクラップ	3 ㎡	1.5 m
6	〔手解体後〕 プラスチック	4 ㎡	1 m
7	〔手解体後〕 金属	4 ㎡	1 m
8	〔 〕		
9	〔 〕		

(2) 保管の場所の概要

事業場番号 No. 1 保管の場所番号 No. 1		新規、変更なし、変更前・変更後
保管物の区分		金属
保管の目的		切断処理前の保管
保管状況		囲いへの直接負荷部分 (三方あり) ・三方以外あり ・なし)
保管の場所の面積		50 m ²
保管の高さ		5m
保管 容器	容器の種類	容器を使用しない
	容量及び数量	容器を使用しない
保管の場所の容量		187.5 m ³
隣接する保管物との距離		隣の区画との間には仕切りを設置する。
火災による延焼を防ぐに足る仕切り がある場合には、その構造等		コンクリート製の仕切りを設置する。
底 面	保管に伴って生じた汚水若しくは油が流出し、又は地下に浸透するおそれの有無及びその理由	解体工事から発生したH鋼を受け入れており、汚水若しくは油の流出又は地下浸透のおそれは無い。
	不浸透性措置	事業場全体をコンクリート舗装する。
生活環境保全上の支障発生等防止措置	囲い	事業場全体を5.5mの鋼板で囲う。
	火災の発生・延焼防止措置	速やかに消火可能な位置に消火器を設置する。 隣の区画との間には仕切りを設置する。
	飛散・流出防止措置	囲いを設置する。
	浸透防止措置	事業場全体をコンクリート舗装する。
	悪臭防止措置	悪臭を伴うものは受け入れない。万が一受入後に悪臭が発生した場合には、直ちにその原因物を除去する。
	騒音振動防止措置	囲いを設置する。事業場内での重機等の移動は時速10kmまでとし、騒音・振動の発生を防止する。重機の使用時間は9:00-17:00とする。
	ねずみ及び蚊等の発生防止措置	週に一度は清掃を行い、事業場内をきれいに保つ。 必要に応じ、殺鼠剤及び殺虫剤を散布する。

その他	作業時間	8:00-18:00 (ただし、重機の使用時間は 9:00-17:00)
	現場責任者	〇〇〇〇

(注1) 「保管の場所の面積」「保管の高さ」「保管容器の容量」「保管の場所の容量」の数値は、小数点以下1桁まで表記することとし、小数点以下1桁未満の数値は切り上げて記載してください。

事業場番号 No. 1 保管の場所番号 No. 2		新規、変更なし、変更前・変更後
保管物の区分		金属
保管の目的		売却のため
保管状況		囲いへの直接負荷部分 (三方あり) ・三方以外あり ・なし)
保管の場所の面積		50 m ²
保管の高さ		5m
保管 容器	容器の種類	容器を使用しない
	容量及び数量	容器を使用しない
保管の場所の容量		187.5 m ³
隣接する保管物との距離		隣の区画との間には仕切りを設置する。
火災による延焼を防ぐに足る仕切り がある場合には、その構造等		コンクリート製の仕切りを設置する。
底 面	保管に伴って生じた汚水若しくは油が流出し、又は地下に浸透するおそれの有無及びその理由	解体工事から発生した H 鋼の切断後物を保管しており、汚水若しくは油の流出又は地下浸透のおそれは無い。
	不浸透性措置	事業場全体をコンクリート舗装する。
生活環境保全上の支障発生等防止措置	囲い	事業場全体を 5.5m の鋼板で囲う。
	火災の発生・延焼防止措置	速やかに消火可能な位置に消火器を設置する。 隣の区画との間には仕切りを設置する。
	飛散・流出防止措置	囲いを設置する。
	浸透防止措置	事業場全体をコンクリート舗装する。
	悪臭防止措置	悪臭を伴うものは受け入れない。万が一受入後に悪臭が発生した場合には、直ちにその原因物を除去する。
	騒音振動防止措置	囲いを設置する。事業場内での重機等の移動は時速 10km までとし、騒音・振動の発生を防止する。重機の使用時間は 9:00-17:00 とする。
	ねずみ及び蚊等の発生防止措置	週に一度は清掃を行い、事業場内をきれいに保つ。 必要に応じ、殺鼠剤及び殺虫剤を散布する。

その他	作業時間	8:00-18:00 (ただし、重機の使用時間は 9:00-17:00)
	現場責任者	〇〇〇〇

(注1) 「保管の場所の面積」「保管の高さ」「保管容器の容量」「保管の場所の容量」の数値は、小数点以下1桁まで表記することとし、小数点以下1桁未満の数値は切り上げて記載してください。

事業場番号 No. 1 保管の場所番号 No. 3		新規、変更なし、変更前・変更後
保管物の区分		プラスチック
保管の目的		売却のため
保管状況		囲いへの直接負荷部分（三方あり・三方以外あり ・なし）
保管の場所の面積		100 m ²
保管の高さ		2.5m
保管 容器	容器の種類	容器を使用しない
	容量及び数量	容器を使用しない
保管の場所の容量		83.3 m ³
隣接する保管物との距離		2m
火災による延焼を防ぐに足る仕切り がある場合には、その構造等		仕切りは設置しない。
底 面	保管に伴って生じた汚水若しくは油が流出し、又は地下に浸透するおそれの有無及びその理由	樹脂成型時に発生する端材や不良品を受け入れており、汚水若しくは油の流出又は地下浸透のおそれは無い。
	不浸透性措置	事業場全体をコンクリート舗装する。
生活環境保全上の支障発生等防止措置	囲い	事業場全体を 5.5m の鋼板で囲う。
	火災の発生・延焼防止措置	速やかに消火可能な位置に消火器を設置する。 隣の区画との間には仕切りは設置しないが、2m 確保する。
	飛散・流出防止措置	囲いを設置する。
	浸透防止措置	事業場全体をコンクリート舗装する。
	悪臭防止措置	悪臭を伴うものは受け入れない。万が一受入後に悪臭が発生した場合には、直ちにその原因物を除去する。
	騒音振動防止措置	囲いを設置する。事業場内での重機等の移動は時速 10km までとし、騒音・振動の発生を防止する。重機の使用時間は 9:00-17:00 とする。

	ねずみ及び蚊等の発生防止措置	週に一度は清掃を行い、事業場内をきれいに保つ。 必要に応じ、殺鼠剤及び殺虫剤を散布する。
その他	作業時間	8:00-18:00 (ただし、重機の使用時間は 9:00-17:00)
	現場責任者	〇〇〇〇

(注1) 「保管の場所の面積」「保管の高さ」「保管容器の容量」「保管の場所の容量」の数値は、小数点以下1桁まで表記することとし、小数点以下1桁未満の数値は切り上げて記載してください。

事業場番号 No. 1 保管の場所番号 No. 4		新規、変更なし、変更前・変更後
保管物の区分		雑品スクラップ
保管の目的		手解体前の保管
保管状況		囲いへの直接負荷部分（三方あり・三方以外あり・なし）
保管の場所の面積		16 m ²
保管の高さ		1m
保管容器	容器の種類	容器を使用しない
	容量及び数量	容器を使用しない
保管の場所の容量		16 m ³
隣接する保管物との距離		2m
火災による延焼を防ぐに足る仕切りがある場合には、その構造等		仕切りは設置しない。
底面	保管に伴って生じた汚水若しくは油が流出し、又は地下に浸透するおそれの有無及びその理由	使用を終了した業務用機器を受け入れている。搬入物によっては、油や液体を含んでいることがあるため、汚水若しくは油の流出又は地下浸透のおそれがある。
	不浸透性措置	事業場全体をコンクリート舗装する。
生活環境保全上の支障発生等防止措置	囲い	事業場全体を 5.5m の鋼板で囲う。
	火災の発生・延焼防止措置	速やかに消火可能な位置に消火器を設置する。 隣の区画との間には仕切りは設置しないが、2m 確保する。
	飛散・流出防止措置	囲いを設置する。
	浸透防止措置	事業場全体をコンクリート舗装する。
	悪臭防止措置	悪臭を伴うものは受け入れない。万が一受入後に悪臭が発生した場合には、直ちにその原因物を除去する。
	騒音振動防止措置	囲いを設置する。事業場内での重機等の移動は時速 10km までとし、騒音・振動の発生を防止する。重機の使用時間は 9:00-17:00 とする。

	ねずみ及び蚊等の発生防止措置	週に一度は清掃を行い、事業場内をきれいに保つ。 必要に応じ、殺鼠剤及び殺虫剤を散布する。
その他	作業時間	8:00-18:00 (ただし、重機の使用時間は 9:00-17:00)
	現場責任者	〇〇〇〇

(注1) 「保管の場所の面積」「保管の高さ」「保管容器の容量」「保管の場所の容量」の数値は、小数点以下1桁まで表記することとし、小数点以下1桁未満の数値は切り上げて記載してください。

事業場番号 No. 1 保管の場所番号 No. 5		新規、変更なし、変更前・変更後
保管物の区分		雑品スクラップ
保管の目的		手解体前の保管
保管状況		囲いへの直接負荷部分（三方あり・三方以外あり・なし）
保管の場所の面積		3 m ²
保管の高さ		1.5m
保管容器	容器の種類	鉄製コンテナ
	容量及び数量	4.5 m ³ ×1
保管の場所の容量		4.5 m ³
隣接する保管物との距離		2m
火災による延焼を防ぐに足る仕切りがある場合には、その構造等		コンクリート製の仕切りを設置する。
底面	保管に伴って生じた汚水若しくは油が流出し、又は地下に浸透するおそれの有無及びその理由	コンテナに保管し、上部を防水シートで覆うことで、汚水及び油の流出を防止する。 コンテナ及び防水シートの点検を始業時及び終業時に目視で実施し、破損等の有無を確認する。 以上により、汚水若しくは油の流出又は地下浸透のおそれは無い。
	不浸透性措置	鉄製コンテナ保管。 事業場全体をコンクリート舗装する。
生活環境保全上の支障発生等防	囲い	事業場全体を 5.5m の鋼板で囲う。
	火災の発生・延焼防止措置	速やかに消火可能な位置に消火器を設置する。 隣の区画との間には仕切りは設置しないが、2m 確保する。
	飛散・流出防止措置	上部を防水シートで覆う。囲いを設置する。
	浸透防止措置	鉄製コンテナ保管。 事業場全体をコンクリート舗装する。
	悪臭防止措置	悪臭を伴うものは受け入れない。万が一受入後に悪臭が発生した場合には、直ちにその原因物を除去する。

	騒音振動防止措置	囲いを設置する。事業場内での重機等の移動は時速10km までとし、騒音・振動の発生を防止する。重機の使用時間は9:00-17:00 とする。
	ねずみ及び蚊等の発生防止措置	週に一度は清掃を行い、事業場内をきれいに保つ。必要に応じ、殺鼠剤及び殺虫剤を散布する。
その他	作業時間	8:00-18:00 (ただし、重機の使用時間は 9:00-17:00)
	現場責任者	〇〇〇〇

(注1) 「保管の場所の面積」「保管の高さ」「保管容器の容量」「保管の場所の容量」の数値は、小数点以下1桁まで表記することとし、小数点以下1桁未満の数値は切り上げて記載してください。

事業場番号 No. 1 保管の場所番号 No. 6		新規、変更なし、変更前・変更後
保管物の区分		金属
保管の目的		売却のため
保管状況		囲いへの直接負荷部分（三方あり・三方以外あり ・なし）
保管の場所の面積		4 m ² (1 m ² のフレコンバッグ×4)
保管の高さ		1m
保管 容器	容器の種類	フレコンバッグ
	容量及び数量	1 m ³ ×4
保管の場所の容量		4 m ³
隣接する保管物との距離		2m
火災による延焼を防ぐに足る仕切り がある場合には、その構造等		仕切りは設置しない。
底 面	保管に伴って生じた汚水若し くは油が流出し、又は地下に 浸透するおそれの有無及びそ の理由	雑品スクラップを手解体したもののうち、金属を保管 しており、保管の際に油や液体を含んでいないことを 確認する。
	不浸透性措置	事業場全体をコンクリート舗装する。
生 活 環 境 保 全 上 の 支 障 発 生 等 防 止 措 置	囲い	事業場全体を 5.5m の鋼板で囲う。
	火災の発生・延焼防 止措置	速やかに消火可能な位置に消火器を設置する。 隣の区画との間には仕切りは設置しないが、2m 確保 する。
	飛散・流出防止措置	囲いを設置する。
	浸透防止措置	事業場全体をコンクリート舗装する。
	悪臭防止措置	悪臭を伴うものは受け入れない。万が一受入後に悪臭 が発生した場合には、直ちにその原因物を除去する。
	騒音振動防止措置	囲いを設置する。事業場内での重機等の移動は時速 10km までとし、騒音・振動の発生を防止する。重機 の使用時間は 9:00-17:00 とする。

	ねずみ及び蚊等の発生防止措置	週に一度は清掃を行い、事業場内をきれいに保つ。 必要に応じ、殺鼠剤及び殺虫剤を散布する。
その他	作業時間	8:00-18:00 (ただし、重機の使用時間は 9:00-17:00)
	現場責任者	〇〇〇〇

(注1) 「保管の場所の面積」「保管の高さ」「保管容器の容量」「保管の場所の容量」の数値は、小数点以下1桁まで表記することとし、小数点以下1桁未満の数値は切り上げて記載してください。

事業場番号 No. 1 保管の場所番号 No. 7		新規、変更なし、変更前・変更後
保管物の区分		プラスチック
保管の目的		売却のため
保管状況		囲いへの直接負荷部分（三方あり・三方以外あり ・なし）
保管の場所の面積		4 m ² (1 m ² のフレコンバッグ×4)
保管の高さ		1m
保管 容器	容器の種類	フレコンバッグ
	容量及び数量	1 m ³ ×4
保管の場所の容量		4 m ³
隣接する保管物との距離		2m
火災による延焼を防ぐに足る仕切り がある場合には、その構造等		仕切りは設置しない。
底 面	保管に伴って生じた汚水若しくは油が流出し、又は地下に浸透するおそれの有無及びその理由	雑品スクラップを手解体したもののうち、プラスチックを材質別に保管しており、保管の際に油や液体を含んでいないことを確認する。
	不浸透性措置	事業場全体をコンクリート舗装する。
生活環境保全上の支障発生等防止措置	囲い	事業場全体を 5.5m の鋼板で囲う。
	火災の発生・延焼防止措置	速やかに消火可能な位置に消火器を設置する。 隣の区画との間には仕切りは設置しないが、2m 確保する。
	飛散・流出防止措置	囲いを設置する。
	浸透防止措置	事業場全体をコンクリート舗装する。
	悪臭防止措置	悪臭を伴うものは受け入れない。万が一受入後に悪臭が発生した場合には、直ちにその原因物を除去する。
	騒音振動防止措置	囲いを設置する。事業場内での重機等の移動は時速 10km までとし、騒音・振動の発生を防止する。重機の使用時間は 9:00-17:00 とする。

	ねずみ及び蚊等の発生防止措置	週に一度は清掃を行い、事業場内をきれいに保つ。 必要に応じ、殺鼠剤及び殺虫剤を散布する。
その他	作業時間	8:00-18:00 (ただし、重機の使用時間は 9:00-17:00)
	現場責任者	〇〇〇〇

(注1) 「保管の場所の面積」「保管の高さ」「保管容器の容量」「保管の場所の容量」の数値は、小数点以下1桁まで表記することとし、小数点以下1桁未満の数値は切り上げて記載してください。

(3) 積み上げる作業の用に供する機械一覧表

機械	機械の種類	使用するアタッチメント等 (フォークリフトの場合、最大揚高)	型式等
1	油圧ショベル	バックホウ	〇〇社製 X-XX
2	油圧ショベル	グラップル	〇〇社製 X-XX
3	油圧ショベル	リフティングマグネット	〇〇社製 X-XX
4	フォークリフト	最大揚高 5m	□□社製 y-yy

(4) 破砕等の場所一覧表

事業場No. 1		新規、変更なし、変更前・変更後		
事業場所在地		群馬県〇〇市〇町〇〇-〇〇		
No	再生資源物の区分	破砕等の種類	破砕等の方法	破砕等の場所の面積 (㎡)
1	金属	切断	金属切断機 による切断	200 ㎡
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				

(5) 破碎等の場所の概要

事業場番号 No. 1 破碎等の場所番号 No. 1		新規、変更なし、変更前・変更後
再生資源物の区分		金属
破碎等の種類		切断
破碎等の方法		金属切断機による切断
破碎等の場所の面積		200 m ²
破碎等の用に供する設備	種類	金属切断機
	型式	〇〇社製 xx-x
	数量	1
	処理方法	切断
	処理能力	50t/日
底面	破碎等に伴って生じた污水又は油が流出し、又は地下に浸透するおそれの有無及びその理由	解体工事から発生したH鋼を受け入れており、污水若しくは油の流出又は地下浸透のおそれは無い。
	不浸透性措置	事業場全体をコンクリート舗装する。
生活環境保全上の支障発生等防止措置	火災の発生・延焼防止措置	速やかに消火可能な位置に消火器を設置する。 隣の区画との間には仕切りを設置する。
	飛散・流出防止措置	囲いを設置する。
	浸透防止措置	事業場全体をコンクリート舗装する。
	悪臭防止措置	悪臭を伴うものは受け入れない。万が一受入後に悪臭が発生した場合には、直ちにその原因物を除去する。
	騒音振動防止措置	囲いを設置する。事業場内での重機等の移動は時速 10km までとし、騒音・振動の発生を防止する。重機の使用時間は 9:00-17:00 とする。
ねずみ及び蚊等の防止措置	防止措置	週に一度は清掃を行い、事業場内をきれいに保つ。必要に応じ、殺鼠剤及び殺虫剤を散布する。

その他	作業時間	8:00-18:00 (ただし、重機の使用時間は 9:00-17:00)
	現場責任者	〇〇〇〇

- (注1) 「破碎等の場所の面積」の数値は、小数点以下1桁まで表記することとし、小数点以下1桁未満の数値は切り上げて記載してください。
- (注2) 「処理能力」の数値は、小数点以下2桁まで表記することとし、小数点以下2桁未満の数値は切り上げて記載してください。

4 油水分離装置等の設備

(1) 油水分離装置及びこれに接続している排水溝の概要

事業場No. 1		新規、変更なし、変更前・変更後
事業場所在地		群馬県〇〇市〇町〇〇-〇〇
屋外保管等に伴って生じた汚水若しくは油が流出し、又は地下に浸透するおそれの有無及びその理由		保管場所No. 4について、使用を終了した業務用機器を受け入れている。搬入物によっては、油や液体を含んでいることがあるため、汚水若しくは油の流出又は地下浸透のおそれがある。
油水分離装置	型式	添付の図面のとおり
	材質	添付の図面のとおり
	構造	添付の図面のとおり
	槽容量	添付の図面のとおり
排水溝	構造	添付の図面のとおり
	材質	添付の図面のとおり
排水先及び排水に係る相談状況		ア 道路側溝 / 〇〇市役所〇〇課 / 令和〇年〇月〇日 イ 農業用水路 / 〇〇水利組合 / 令和〇年〇月〇日

詳細のわかる図面を添付すること。

添付書類 2 再生資源物屋外保管事業場の位置図及び付近の見取図

事業場の位置図及び付近の見取図（搬入路、搬出路を示し、幹線道路・駅等からの案内を示すもの）を添付してください。



図 提出のイメージ

添付書類 3 再生資源物屋外保管業を行う土地及び建物の登記事項証明書並びに公図の写し

(1) 土地及び建物の登記事項証明書

再生資源物屋外保管業を行う土地及び建物の登記事項証明書（提出日前3月以内に発行されたもの）を添付してください。

(2) 土地の公図の写し

再生資源物屋外保管業を行う土地の公図の写し（提出日前3月以内に発行されたもの）を添付してください。

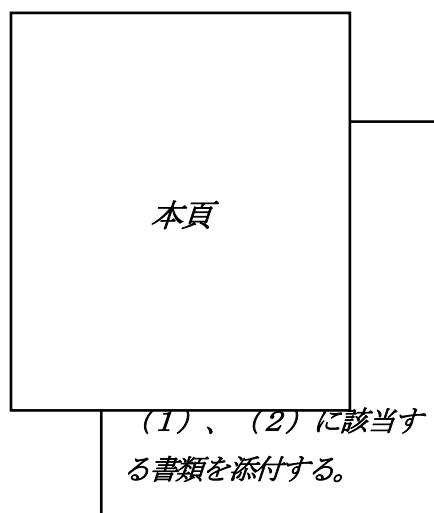


図 提出のイメージ

添付書類 4 再生資源物屋外保管事業場の構造を明らかにする平面図、立面図、断面図、構造図、設計計算書及び権原を有することを証する書類

(1) 事業場平面図

事業場内の屋外保管等の場所、油水分離装置及びこれに接続している排水溝の設置場所を示す事業場平面図を添付してください。

(2) 保管の場所に係る図面等

保管の場所の構造を明らかにする平面図、立面図、断面図、構造図を添付してください。保管容器を使用する場合には保管容器の容量計算書、使用しない場合には保管物の積上げ図及び体積計算書を添付してください。

保管の場所の囲いの設置位置及び構造を示す平面図、立面図、断面図、構造図を添付してください。なお、保管物の荷重が直接囲いにかかる構造である場合にあっては、当該荷重に対して当該囲いが構造耐力上安全であることを示す書類を添付してください。

保管の場所から保管に伴って生じた汚水若しくは油が流出し、又は地下に浸透するおそれがある場合にあっては、保管の場所の底面が不浸透性の材料で覆われていることを示す平面図、立面図、断面図、構造図を添付してください。

(3) 積み上げる作業の用に供する機械に係る図面等

積み上げる作業の用に供する機械の構造、仕様を明らかにする書類を添付してください。

協議者が積み上げる作業の用に供する機械の所有権を有することを証する書類を添付してください。機械の所有権を有しない場合には、当該機械を使用する権原を有することを証する書類を添付してください。

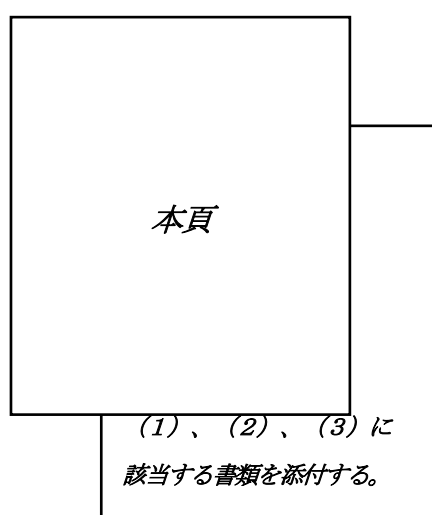


図 提出のイメージ

添付書類 5 破砕等の用に供する設備を設置する場合にあっては、当該設備の処理方式、構造及び設備の概要、構造を明らかにする平面図、立面図、断面図、構造図、設計計算書及び権原を有することを証する書類

(1) 破砕等の場所に係る図面等

破砕等の用に供する設備の構造を明らかにする平面図、立面図、断面図及び構造図を添付してください。

破砕等の用に供する設備の処理能力計算書を添付してください。

協議者が破砕等の用に供する設備の所有権を有することを証する書類を添付してください。設備の所有権を有しない場合には、当該設備を使用する権原を有することを証する書類を添付してください。

破砕等の場所から破砕等に伴って生じた汚水若しくは油が流出し、又は地下に浸透するおそれがある場合にあっては、破砕等の場所の底面が不浸透性の材料で覆われていることを示す平面図、立面図、断面図及び構造図を添付してください。

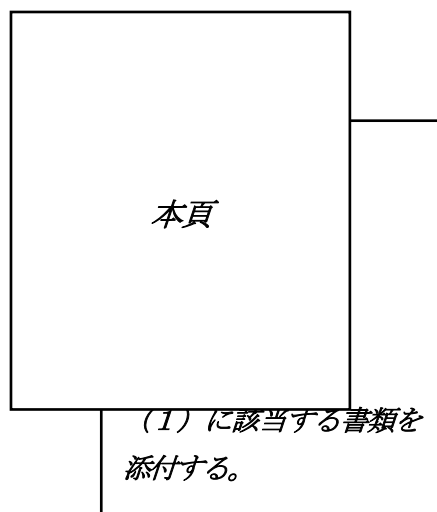


図 提出のイメージ

添付書類 6 協議者が再生資源物屋外保管業を行う土地及び建物の所有権を有しない場合にあっては、当該土地及び建物を使用する権原を有することを証する書類

協議者が再生資源物屋外保管事業場の土地及び建物の所有権を有しない場合には、当該土地及び建物を使用する権原を有することを証する賃貸借契約書等の書類を添付してください。

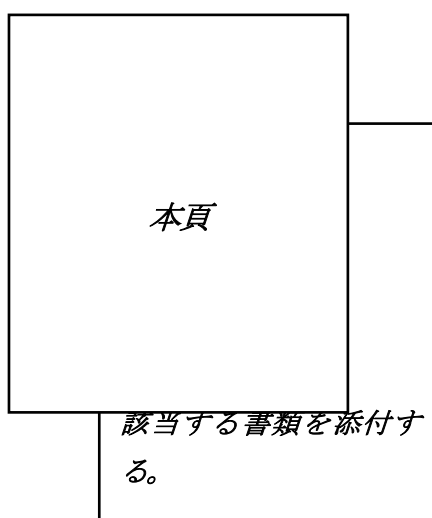


図 提出のイメージ

添付書類 7 再生資源物の破砕等を業として行う場合にあっては、当該破砕等に伴って生じた廃棄物の処理方法又は再生品の利用方法を記載した書類

(廃棄物)

廃棄物の種類		切断後物は全て売却するため、廃棄物は発生しない
発生量		
処分方法		埋立処分 海洋投入処分 中間処理 売却 { 中間処理、売却の場合は具体的な方法 }
処 分 先	自己処理	(処分場所)
	委託処理	(処分業者名)
		(所在地)

(再生品)

再生品の種類	金属
発生量	200t/月
利用方法	溶融

(留意事項)

- ◆ 破砕等の用に供する設備が複数ある場合は、設備ごとに記入すること。
- ◆ 設備の設置場所欄は、設置場所の地番すべてを記入すること。

添付書類 8 次に掲げる事項を記載した標準作業書

- (1) 再生資源物屋外保管事業場の維持に関する計画
- (2) 油水分離装置及びこれに接続している排水溝の管理の方法
- (3) 電池、潤滑油その他の火災の発生又は延焼のおそれがあるものの回収及び処理の方法
- (4) 屋外保管等に伴って生じた汚水又は油の飛散、流出及び地下への浸透並びに悪臭の発散を防止する方法
- (5) 屋外保管等に伴う生活環境の保全に支障を生じさせる騒音又は振動の発生を防止する方法
- (6) 再生資源物屋外保管事業場におけるねずみの生息及び蚊、はえその他の害虫の発生を防止する方法
- (7) 当該事業に伴って生じる廃棄物の処理の方法
- (8) その他知事が定める事項